こんにちは　大東のぶゆき　です

こんにちは。臨時国会での所信表明演説で安倍首相は、消費税増税を強行した直後だというのにそのことには一言も触れず、都合のいい数字だけをあげ、実績なるものの自慢と年金、医療、介護の社会保障改悪や改憲などに執念を示しました。

１日から消費税が10％に増税され、国民はその負担の大きさとともに制度の複雑さを実感しているというのに、安倍首相は「税率引き上げによる影響には、引きつづき十分に目配りします」と「紋切り型」の言葉で片づけ、国民の痛みをまったく感じていません。

安倍首相は、高齢者の雇用や「正社員」が増えた、農産物の輸出が増えたことなどを繰り返しましたが、消費税を８％に増税する前に比べ、家計支出が20万円も減少していることや実質賃金が15万円も減っていることには触れませんでした。

安倍首相は所信表明演説の結びで、改めて改憲をすすめることを表明しましたが、首相の憲法尊重擁護義務と三権分立を踏みにじるものです。

市役所で働く非常勤職員を会計年度任用職員へ移行し待遇の改善に
勤務時間、休暇、給与、費用弁償などに関する条例を制定

９月定例市議会で、政府がすすめる働き方改革の一環として、地方公務員法と地方自治法の一部が改訂され、法律により制定された地方自治体で働く非常勤職員の名称が会計年度任用職員に変わり、新しい制度に移行するための条例が可決されました。

条例では、臨時的任用などの非常勤職員を規定し、それ以外を「会計年度任用職員」とし、フルタイムとパートタイムに分け規定されています。

会計年度任用職員は１年間の契約ですが、これまでの非常勤職員の場合は３年を限度とされていた雇用が延長される場合があり、期末手当の支給やフルタイムの場合は退職金が支給されることになるなど、待遇が一定程度改善されます。

館林市議会の議会報編集委員会と議会広報について交流

館林市議会報編集委員会（７人）は８日、市役所で沼田市議会の議会だより編集委員会と議会広報について意見交換をおこないました。

意見交換では、沼田市議会の議会だよりの編集の仕方、オールカラー化などのリニューアルなどの取り組みが報告され、館林市議会議員より、議会だよりのリニューアル化に対する市民の反響などについて質問が出され、議会の広報活動の充実について意見交換がおこなわれました。

国政･県政の新年度予算要望で懇談

日本共産党群馬県委員会は３日、塩川てつや衆議院議員と梅村さえこ前衆議院議員をまじえて、来年度予算への国政要望についての懇談会を開きました。

県内の日本共産党市町村議員などが参加し、国保税引き下げのために国の予算を増額すること、吾妻、利根沼田地域での小児科、産婦人科医師の確保、豚コレラ対策などの要望が出されました。

222点の作品が出品された上原町ふれあい作品展

第１５回上原町ふれあい作品展が、上原町区民館で５日と６日に開かれました。

今年で１５回目のふれあい作品展には、絵画、切り絵、書、写真、おし花、折り紙、手芸など２２２点の作品が展示されました。

東保育園の園児や県立沼田特別支援学校の生徒の絵や工作、陶芸などの作品も展示されました。

続ぶらり散歩　ぬまた道　利根町あれこれ　特別編その三十六

カスリン台風復旧記念碑

カスリン台風は、昭和２２年（１９４７）９月９日からふり出した雨が、１４日から豪雨となり川や沢が氾濫しはじめ、１５日の集中豪雨によって各地で山崩れがおこり、その土砂と流水が押し出したことにより、旧赤城根村では８９戸の家が流失し、南郷小学校の校舎２棟も流失するなど甚大な被害をもたらししました。

９月１９日には各集落に水害対策本部が設置され、１０月３日には県へ復旧のための陳情が作成され、１０月１２日に南郷小流出跡の河原で水害対策村民大会が開かれました。

砂川の県道沼田赤城線の脇には、復旧支援に対する砂川、青木の区民一同による感謝の記念碑が建てられています。

追貝の千歳橋

追貝の片品川にかかる千歳橋は、昭和２４年（１９４９）に完成し、全長７６メートルの橋で、吹割大橋が完成するまでは沼田市と片品村をつなぐ重要な橋でした。

慶長５年（１６００）の関ヶ原の戦の時、会津の上杉勢に備え、戸倉の関所、大原の宿割とともに刎橋が真田信之によって、吹割大橋の下あたりにかけられました。

その後もこの橋は、沼田と会津をつなぐ重要な橋として活用されました。

２０１９年１０月１３日　　NO,６２５

日本共産党　大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所　沼田市下久屋町９８３　℡２３－１５１９　部内資料